

令和7年度第2回大野城市民読書活動推進委員会 会議録

日 時 令和7年 12月 4日(木)10:00～11:20

場 所 市役所本館3階 災害対策本部室

出席者 部会員 齊藤智子会長、森部敦子副会長、河井律子委員、久家幸雄委員、橋本洋子委員、川口佳代子委員、見城享子委員、関和弘委員、大熊あい子委員、古賀浩利委員
事務局 岩下コミュニティ文化課長、荒武主任主事、武内
中川学校・地域連携課地域連携担当係長、波多野主任主事

内 容

1 開会

2 議題

(1) 主な取組ごとの達成状況の確認

事務局より、本日の流れ及び留意事項等について説明を行う。

「施策進捗状況シート」に沿って12の施策における主な取組ごとの「達成状況」の確認を行い、特に検討が必要な事項等がないか意見等をいただく。

基本目標1 あらゆる世代の読書の推進

(1)乳幼児

① 絵本の紹介と保護者への啓発

② 読み聞かせの推進

→主な取組①～②に対する質疑、意見なし。

③ 絵本の貸出の実施

〈意見、質問等〉

関委員	・保育園のデータ(絵本の貸出の実施)については、どうやって確認したのか。
事務局	・所管課保育所担当に確認している。

(2)小・中学生

① 本の紹介

② 読み聞かせ等の推進

→主な取組①～②に対する質疑、意見なし。

③ 読書時間の確保

〈意見、質問等〉

河井委員	・「学校の読書時間が減少しつつある。学校の実情に合わせ読書時間を継続して確保していく」では抽象的で、成り行き任せではないか。市から学校へ確保の働きかけなどは行わないのか。
------	---

事務局	・カリキュラムは学校主体で作成している。市の連絡協議会で時間の確保についての働きかけは行っている。ただ、学校の時制等で一律の確保は難しい。
齊藤会長	・高学年は読む時間がなかなか確保できないことはあるが、図書室に行く時間は設けているし、読書時間が減っているとは思っていない。学校にもよるかもしれないが、まどかぴあ図書館からも本を借りて、各教室に置いている。児童は、隙間時間に読んだりもしている。学校にもよるかもしれない。
河井委員	・検討する時期にもよるが、学校がカリキュラムを組む時期に読書時間の確保をお願いするのもいいのでは。カリキュラムに反映できる自治体の例も聞いている。可能性として模索してほしい。
関委員	・そもそも大野城市の第3次子ども読書計画が令和5年から市の読書計画に包含されたことが、子どもの読書推進が弱くなっている原因ではないか。県の第4次読書計画、福岡市の子ども活動推進計画もどちらも教育委員会が所管している。なぜ、大野城市は子ども読書を教育委員会が所管しないのか。教育委員会とコミュニティ文化課が担当するところをしっかりと分けたほうが、計画を進めやすいのではないか。
齊藤会長	・計画の中間見直しの際には、事務局で検討いただきたい。

④ 読書活動の促進

〈意見、質問等〉

関委員	・ブックリストの予算はとっているのか。
事務局	・計画の予算ではなく図書館事業費の中から実施している。予算なく事業を進めているのではなく、各所管で事業に必要な事業を計上し、遂行している。

⑤ 読書目標の設定

→主な取組に対する質疑、意見なし。

⑥ 調べ学習の促進

〈意見、質問等〉

古賀委員	・予算の関係上購入していない高校の図書室にない本をまどかぴあ図書館で借りることができ、調べもの学習で助かった。資料はお互い補完し合うことができる。高校の資料も是非ご活用いただきたい。
------	---

⑦ 保護者への啓発

→主な取組に対する質疑、意見なし。

(3) 高校生以上の学生

- ① 本の紹介
- ② 読書活動の促進
- ③ 調べ学習の促進

→主な取組①～③に対する質疑、意見なし。

(4) 社会人

- ① 読書活動の促進
- ② 生涯学習の促進

→主な取組①～②に対する質疑、意見なし。

(5) 高齢者

- ① 読書活動の促進
- ② 生涯学習の促進

→主な取組①～②に対する質疑、意見なし。

(6) 全世代共通

- ① 読書活動の促進
- ② 本の紹介
- ③ 情報発信の強化

→主な取組①～③に対する質疑、意見なし。

基本目標2 読書に親しむ環境づくり

(1) 身近な読書活動の場の充実

- ① 図書館の充実
- ② 学校図書室の充実
- ③ 地域貸出文庫の充実
- ④ コミュニティセンターのコーナー充実
- ⑤ 気軽に読書・調べ学習できる場の充実
- ⑥ 移動図書館の活用促進
- ⑦ 本を届けるサービスの実施
- ⑧ イベントの実施
- ⑨ 電子書籍サービスの導入・運用

→主な取組①～⑨に対する質疑、意見なし。

(2) 資料の充実と効率的な活用

- ① 資料の充実
- ② 団体貸出の促進
- ③ 図書の再活用

→主な取組①～③に対する質疑、意見なし。

(3) 読書バリアフリーの推進

- ① 館内設備の充実
- ② バリアフリー資料の充実
- ③ バリアフリーサービスの充実
- ④ 多文化サービスの充実

→主な取組①～④に対する質疑、意見なし。

基本目標3 読書ネットワークの充実

(1) 身近な読書活動の場の充実

- ① 相談窓口の充実
- ② 時代に即した連携のあり方の検討

→主な取組①、②に対する質疑、意見なし。

(2) 読書活動を支える人の活動の活性化

- ① 図書館司書のスキルアップ
- ② 学校司書活動の充実

→主な取組①、②に対する質疑、意見なし。

③ 保育士・幼稚園教諭等のスキルアップ支援

〈意見、質問等〉

大熊委員	・研修の案内が現場の先生までおりにこない。どのような研修案内があったのか
事務局	・この場でどのような研修の案内があったかはわからないが、案内をしているということは原課に確認している。以前から研修については問題があり、先生が研修に参加する時間が確保できない、オンライン実施では意味をなさない等、現場とのニーズが一致しないことが多い。研修の必要性について検討していく。

- ④ 読書ボランティアの育成
- ⑤ 読書ボランティア人材の発掘
- ⑥ 読書ボランティア活動の活性化
- ⑦ 読書ボランティアの交流の場と協力体制づくり

→主な取組④～⑦に対する意見等はなし。

(3) 市民交流の創出

- ① 市民が参加できるイベント等の実施

→主な取組に対する意見等はなし。

(2)意見書

事務局	<p>・事前にいただいた意見書より、本計画の周知不足という意見をいただいた。計画に関わる人たち(学校、ボランティア等)には周知されているが、一般市民への周知が不十分であった。今後は、市民全体への発信と、より効果的な情報提供の方法を検討していく。</p>
関委員	<p>・予算をしっかりと確保して事業をすすめてほしい。</p> <p>・報告内容が図書館の事業報告に偏っており、計画を見直すべきだと思う。</p>
事務局	<p>・計画に基づいた各事業は各所管部署が予算を計上する。本委員会でいただいたご意見はその部署にフィードバックし、事業の強化や新たな取り組みの予算化を検討する。</p> <p>・図書館に関する記載が多いのは、図書館が積極的に事業に取り組んでいる証拠でもある。また、図書館には学校・保育所・コミュニティセンターなどと積極的に連携して取り組んでもらっている。取組や報告についてご意見をいただければ、それを集約して計画などにフィードバックさせていただく。</p>
川口委員	<p>・ボランティアは学校や市のように方針を決めるとかではないが、どうしたら本を好きになるかを考えてやっている。本があるところに来ると、本が好きになる。急いで本を読んでと言っても、本は読まない。ゆっくりやっている。</p> <p>・公民館の子ども食堂やもちつきの際に時間や読書スペースを確保してなど、+αの読書でもいい。ゆっくりやっている。ストレートに本を届けるのではなく、興味があることに読書を取り入れるのがいい。</p>
久家委員	<p>・つつじヶ丘公民館でもペットボトルキャップの回収を始め、回収数が伸びている。当初の目的は本ではなかったとしても、最終的に本の寄贈につながっている。</p>
事務局	<p>・評価の指標についてはいかがだったか。令和9年度に計画の見直しがあるので、ご意見を伺いたい。</p>
河井委員	<p>・実施したことはよくわかるが、ただ「やりました」で終わらずに「去年と比べてどうだった」を報告しないといけない。</p>
橋本委員	<p>・コミュニティセンターでおはなし会を実施している。回数は去年と変わらないが、参加者はすごく増えており、内容にも厚みが出ている。そう言った点を伝えたい。</p>
古賀委員	<p>・行動や活動を指標にしているので、成果指標で評価するとわかりやすくなるのではないか。</p>
川口委員	<p>・こどもの感想等をもらえると、とても嬉しい。少しでも事業の中身が見えるといい。</p>

3 その他

事務局	・今の計画は活動指標で評価しているので、今後、現場の声が拾えるところは拾って報告していきたい。令和9年度に計画の見直しがある、見直しの際にもご意見を伺いたいのでよろしくお願いします。
-----	---

4 閉会

以上